

事務事業評価シート

|            |                               |                  |
|------------|-------------------------------|------------------|
| 事業番号<br>13 | 事務事業名<br>保育園運営管理費(治癒証明書発行手数料) | 所管部課<br>幼児教育・保育課 |
|------------|-------------------------------|------------------|

|           |  |         |   |
|-----------|--|---------|---|
| 事務事業の概要   | 事務事業の目的【1】   |         | 根拠法令等【2】  |
|           | 市内認可保育施設では、保育所における感染症の発生又はまん延を予防する対策として、感染症に罹患した児童が登園する際の取り決めとして、医師の治癒証明書の提出を求めている。保護者の負担を軽減し、治癒証明の確実な提出を担保するため、証明書発行費用を全額補助し、保育施設における感染症の発生及びまん延を防止する。<br>【根拠法令等:児童福祉施設の設備及び運営に関する基準】   |         | <input type="checkbox"/> 法律<br><input type="checkbox"/> 条例・規則等<br><input checked="" type="checkbox"/> 政令・省令<br><input type="checkbox"/> 要綱・要領 |
|           | 事業内容・実施方法等／補助の概要【3】  |         |   |
|           | 【事業内容】<br>・登園再開に当たり、治癒証明書が必要な感染症に罹患した児童は、医療機関にて治癒の確認と集団生活の可否について診断を受け、専用の治癒証明書式を医療機関より受領し、保育施設に提出する。<br>・発行手数料は、市が医師会を通じて支払うため、保護者に費用負担は発生しない。<br>・庁内事務としては、西東京市医師会が取りまとめた市内医療機関分の費用について、年2回(上半期分は10月、下半期分は3月)医師会からの請求を受け、請求内容の確認(添付された証明書・意見書の写し)を行い、支払いを行っている。<br>【対象者】 市内認可保育施設(地域型保育事業含む)入所児<br>【対象経費】 1件 550円(税込み)※保護者負担なし<br>【対象医療機関】 西東京市医師会加盟の医療機関 |         |   |
| 事業開始時期【5】 | 合併前  | 実施形態【6】 | <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )               |

| 項目                                     | 令和2年度<br>(決算額) | 令和3年度<br>(決算額) | 令和4年度<br>(決算見込額) | 令和5年度<br>(予算額) | 単位 |
|--|----------------|----------------|------------------|----------------|----|
| 事業費(A)【7】                              | 1,060          | 1,828          | 2,576            | 3,135          | 千円 |
| 内訳                                     |                |                |                  |                |    |
| 主要な経費: 手数料                             | 1,060          | 1,828          | 2,576            | 3,135          |    |
| その他:                                   |                |                |                  |                |    |
| 財源                                     |                |                |                  |                |    |
| 内訳                                     |                |                |                  |                |    |
| 国庫支出金・都支出金                             |                |                |                  |                |    |
| 地方債                                    |                |                |                  |                |    |
| その他 ( )                                |                |                |                  |                |    |
| 一般財源                                   | 1,060          | 1,828          | 2,576            | 3,135          |    |
| 所要人員(B)【8】                             | 0.02           | 0.02           | 0.02             | 0.02           | 人  |
| 人件費(C)=平均給与×(B)                        | 166            | 161            | 161              | 161            | 千円 |
| 会計年度任用職員報酬等(C)【9】                      |                |                |                  |                | 千円 |
| 総コスト(D)=(A)+(C)+(C')                   | 1,226          | 1,989          | 2,737            | 3,296          | 千円 |
| 単位当たりコスト【10】<br>(E)=(D)/ ( 治癒証明書発行件数 ) | 1              | 1              | 1                | —              | 千円 |

| 指標名  | 令和2年度<br>(実績値) | 令和3年度<br>(実績値) | 令和4年度<br>(実績値) | 令和5年度 | 単位 |
|--|----------------|----------------|----------------|-------|----|
| ①治癒証明書発行件数   | 1,926          | 3,322          | 4,683          |       | 件  |
| ②  |                |                |                |       |    |
| 【11】《指標の説明・数値変化の理由 など》【12】<br>増加要因: 保育施設の新規整備による在園児童数の増加に伴い、治癒証明書発行件数増加(令和2年度、令和3年度、令和4年度)<br>減少要因: 新型コロナウイルス感染拡大状況下での他の感染症の罹患数減少に伴い、治癒証明書発行件数減少(令和2年度、令和3年度)<br>※今後は、待機児童対策に係る新規施設整備の予定はなく、在園児童数は横ばいとなると考えられるため、治癒証明書の発行件数は、5類感染症になった新型コロナウイルス感染症を含め、感染症の流行状況にのみ影響を受けると考えられる。 |                |                |                |       |    |

|       |                                     |   |  |
|-------|-------------------------------------|---|--|
| 事業環境等 | 市民・関連団体等の意見【13】<br>(アンケート結果など)      | 西東京市医師会からは、園児の健康管理と感染症まん延防止の面から、治癒証明書の必要性は高いとの意見をいただいている。   |  |
|       | 他団体のサービス水準との比較【14】<br>(平均値、本市の順位など) | <input checked="" type="checkbox"/> 上<br><input type="checkbox"/> 中<br><input type="checkbox"/> 下 | 「保育所における感染症対策ガイドライン」において、登園再開ルールについては、市内医療機関や医師会、学校等と協議し、市としての取扱いを定め、広く周知することが適当とされている。市として取扱いを定めていない自治体もある中で、本市においては、医師会等との協力の下、きめ細かいルールが周知されている。 |
|       | 代替・類似サービスの有無【15】                    | <input type="checkbox"/> 有<br><input checked="" type="checkbox"/> 無                               |  |

**【一次評価】**

| 検証項目【16】   |           | 判定   | 判定理由                                     |
|--|-----------|--|--|
| A  | 事業の必要性    | 高い   | 子どもの健康管理及び保護者負担軽減という観点からは、本事業の必要性は高い。    |
|  | 実施主体の妥当性  | 適切   | 子どもの健康管理について医師会の協力を得られているため、実施体制の妥当性は高い。 |
| B  | 事業(補助)の対象 | 適切   | 認可外保育施設等の取扱いなどの課題はあるが、概ね適当である。           |
|  | 事業(補助)の内容 | 適切   | 医師会との合意に基づく事業内容(文書の発行)であり、妥当である。         |
|  | 受益者負担     | 適切   | 健康な児童へのまん延防止を目的としており、市費負担が妥当である。         |
|  | 事業コスト     | 低い   | 医師会の協力もあり、全額市負担の他の自治体と比較すると安価である。        |
|  | 業務負担      | 普通   | 年2回の支払いのため、業務負担は適切である。                   |
| 検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目   |           |  |  |
| 一次評価【17】   |           | 評価の判断理由及び現状の課題など【18】   |  |
| <input type="checkbox"/> 拡充<br><input checked="" type="checkbox"/> 継続実施<br><input type="checkbox"/> 改善・見直し<br><input type="checkbox"/> 抜本的見直し<br><input type="checkbox"/> 廃止 |           | 治癒証明のルールについては、市内医療機関、医師会、学校、保育所及び保護者が協力して地域ごとに作り上げてきたものであり、集団保育における感染予防の観点からも必要なものであると考える。本件には、文書の発行のための保護者の負担を問う意見もあるが、保育園におけるまん延防止という観点があり、市費負担で実施すべき事業である。子どもの健康管理という点では、認可外保育施設を対象としていくかどうか検討が必要である。 |  |

**【二次評価】**

| 検証項目   |           | 判定  | 判定理由   |
|--|-----------|---|--|
| A  | 事業の必要性    | 普通  | 子どもの健康管理及び安定した保育環境の確保に資する事業である。              |
|  | 実施主体の妥当性  | 適切  | 代替サービスがなく、市が主体となって実施する必要がある。                 |
| B  | 事業(補助)の対象 | 課題有   | 医師会に非加盟の医療機関での受診や認可外保育施設への入所者に対する対応の検討を要する。  |
|  | 事業(補助)の内容 | 課題有   | 前回評価で指摘した、感染症の種別の検討が必要である。                   |
|  | 受益者負担     | 課題有   | 一定の受益者負担についての検討が必要である。                       |
|  | 事業コスト     | 普通  | 感染症の種別の検討が進めば、事業費が安くなる可能性があるため検討が必要である。      |
|  | 業務負担      | 普通  | 前回より所要人員が増えているが、年2回の請求書類の内容確認であり標準的な業務負担である。 |
| 検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目   |           |   |  |
| 二次評価【17】   |           | 評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【18】   |  |
| <input type="checkbox"/> 拡充<br><input type="checkbox"/> 継続実施<br><input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し<br><input type="checkbox"/> 抜本的見直し<br><input type="checkbox"/> 廃止 |           | 保育園児は、年齢的に免疫力が低く、また、保育の実施に伴い密着する機会が多いため感染拡大を防ぐためには必要な事業であり、感染症の発生又はまん延を予防し、安定した保育環境を確保することは重要である。一方、治癒証明の提出を必要とする感染症の種別については、改めて見直しが必要であるものとする。また、治癒証明書等発行手数料の全額公費負担については、多摩26市においても高いサービス水準にあることから、受益者負担による経費の抑制や認可外施設への対象範囲の拡大など、前回の評価において指摘されたものの、検証されていない事項について改善・見直しを図る必要があるものとする。 |  |

**【外部評価】**

| 外部評価【17】  | 評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【18】 |
|---|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 拡充<br><input type="checkbox"/> 継続実施<br><input type="checkbox"/> 改善・見直し<br><input type="checkbox"/> 抜本的見直し<br><input type="checkbox"/> 廃止 |                                 |

**【行革本部評価】**

| 行革本部評価【17】  | 評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【18】 |
|---|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 拡充<br><input type="checkbox"/> 継続実施<br><input type="checkbox"/> 改善・見直し<br><input type="checkbox"/> 抜本的見直し<br><input type="checkbox"/> 廃止 |                                 |

|                      |  |
|----------------------|--|
| 改善の方向性と今後のスケジュール【19】 |  |
|----------------------|--|